

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。



社会福祉法人

小羊学園

〒433-8105

静岡県浜松市北区三方原町 2709-12

電話：053-414-1833 FAX：053-438-7707

E-mail square@kohitsuji.or.jp

H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人：稲松 義人

印刷所：SRS株式会社

定 価：一部30円

2014年 5月 20日

第 372 号

専門性と共生社会

三方原スクエア施設長 出水 巖生

先日、法人内のある会議の中で児童福祉に関する話題が出され意見交換が行われました。近年の障がい児分野においては虐待やネグレクト等の問題、児童本人のADHDや愛着障がい等の特性、また家庭も片親家族や親自身の疾患など、児童や家族に対する支援や療育の必要性が急増していると言えます。またそのような背景を踏まえて児童分野の専門機関や福祉サービスも増加している現状にあります。その利用の実情としては十分なサービスを受けられない方がいる面と、一方でサービスを利用することで本来幼少期に形成されるべき親子の関係が希薄になってしまっているケースもあるという話を耳にすることもあり、急変する社会状況の中でバランスが取れていない、あるいは支援の本質が伴っていない部分があるようです。

そのような中で話題となったのは、多くの機関や専門性が増えている状況は以前と比べてある意味充実してきているのかもしれませんが、それが共生には繋がっていないのではないかとという意見でした。もちろん年齢が高くなれば、例えば一般的にも高校や大学は専門性が

明確になってきますが、幼児期の段階ではそれ以前に形成されるべき大切なことがあると思います。それを障がいという枠で分けることが本当に適しているのかは疑問が残ります。

以前、近隣にある保育園のクリスマス会で個人的にサンタクロース役を依頼され参加をしたことがありました。広いホールに並んで座っている園児一人ひとり順番にサンタからプレゼントを渡していくのですが、私のすぐ横には先生が補助について下さり、園児の名前を教えてくださいるので私はそれを読み上げて渡すだけです。呼ばれた子どもは皆嬉しそうに顔をしながら前へ出てきてプレゼントを受け取り、「ありがとう」とお礼を言ってお席へ戻って行きました。数人渡したところでその先に目をやると、見た目にも障がいがあると分かるような子どもが座っていました。即座に私は頭の中で様々な予測を立てました。名前を呼んで理解できるのか、自分で歩いてプレゼントを取りに来ることができるのか、私がその子の所まで渡しに行こうか、先生が事前に助言をしてくれるだろう、などです。そしてその子の順番がやってきました。横にいる先生は私に対して何の説明もなく、他の子と同じようにその子の名前を覚えてくれただけで子どもの方をじっと見えています。とりあえず私もその子の名前を呼び反応を待ちました。すると、少し間をおいて隣に座って

いた子が自ら「○○くん呼ばれたよ」とその子に伝えると、今度は反対側に座っていた子も一緒に2人でその子を立たせ、私の所まで連れて来てくれたのでした。プレゼントを渡すとまた一緒に席まで連れ帰り、3人とも嬉しそうに笑顔で席に着きました。プレゼントの場面なのでその事前練習など決してしていなかったと思います。おそらく日頃から先生方を通して、自然と子ども達の中でそのような意識ができるように関わりを持っていたのでしよう。クリスマス会が終わり、私が帰るまで結局先生方からその子の障がいについての話しはありませんでしたが、逆に共生の保育に対する深い想いが感じ取れ、それが私にとってはとても嬉しかったのを覚えています。

共生社会というのはその場だけの対応でもなく、また障がいを持つ側だけの問題ではありません。幼い時にどのような経験を持ち、その人が大人になった時にどのような社会が築かれるか、健常者という立場の人達が障がいを抱えている人達の苦労や困難をどのように理解し共感しお互いが支え合えるか、それが社会の中に自然に浸透して具体的な形に繋がってゆくことであると思います。サービスが増えることでどうしてもその枠の中の発想になりがちですが、広い視野を持ちながらその本質をお互いに考えることができればと思います。

社会福祉法人小羊学園
2013(平成25)年度事業報告
理事長 稲松 義人

2013年度も関係の皆さまのご協力と周囲の皆さまのご支援によって、小羊学園のそれぞれの事業を進めることができました。皆さまのご支援に心から感謝申し上げます。

2013年度の最も大きな事業展開としては、何といたっても支援センターわかぎの全面改築を進めることができました。小羊学園児童寮・青年寮の移転改築(三方原スクエア新築、2008年11月)に続き、老朽化への対応が課題であった支援センターわかぎを改築したことで、社会福祉法人設立以前に建築した施設をすべてリニューアルできたこととなります。今後は、地域と一体になって利用者支援を推進するような事業展開が求められると思っております。10年前に静岡市内に開設した重症心身障がい児(者)施設つばさ静岡においても、開設当初から「地域」に開かれた施設づくりを意識して取り組んできています。

小羊学園の最初の通所事業である「小羊デイケアホーム」(1988年)においても、かねてからの課題であった新規利用希望への対応のために浜松市西区大山町にサテライトを設置

することができました。また、これに合わせて法人としては4つ目となる放課後等デイサービスとなる「ぼるしあ」も開設しました。

三方原スクエアでは、成人部で課題となっていた身体機能低下の著しい入所者のために居室等の一部を改修しました。また、4つ目のケアホーム「すずらん」を新築し、これにより1995年から取り組んだ三方原スクエア児童部に在籍する過年齢者への対応が一段落することになります。

一方で、つばさ静岡における看護師を中心とした人材確保は、経済的な安定に直結する課題です。また、三方原スクエアも、新しい時代の施設づくりにチャレンジしているために厳しい財務状況です。いつの時代も先駆的な事業には経済的には困難があります。

つばさ静岡における重症児者福祉におけるネットワーク構築へのチャレンジ、三方原スクエアと温心寮で模索する地域の協力者を取り込みながら作る支援体制、浜松南エリアでの他の事業所と連携し地域コミュニティの再生をめざす取り組み等々、もうすでにそれぞれの地区・エリアで試行錯誤がはじめられています。今はまだ数字には現れないですが、これらの取り組みも含めて、この1年のご支援を感謝しご報告いたします。

1. 財産目録

資産・負債の内訳 (単位: 円)

I 資産の部		
1 流動資産	1,853,641,418	
現金預金	616,170,479	
未収金	1,111,303,265	
貯蔵品	1,646,152	
立替金	97,089,632	
前払金	431,890	
短期貸付金	27,000,000	
流動資産合計	1,853,641,418	
2 固定資産	4,375,602,193	
(1) 基本財産	3,142,257,976	
建物	2,000,898,629	
土地	1,141,359,347	
基本財産合計	3,142,257,976	
(2) その他の固定資産	1,233,344,217	
建物	176,684,394	
構築物	34,751,447	
車両運搬具	23,062,012	
器具および備品	29,720,705	
土地	123,528,358	
建設仮勘定	817,135,255	
施設・設備等積立預金		
退職共済預け金	25,457,696	
ソフトウェア	671,828	
敷金・保証金等預け金	1,805,000	
その他の無形固定資産	527,522	
その他の固定資産合計	1,233,344,217	
資産合計	6,229,243,611	
II 負債の部		
1 流動負債	1,198,265,004	
短期運営資金借入金	27,000,000	
未払金	1,168,599,936	
預り金	2,235,068	
流動負債合計	1,198,265,004	
2 固定負債	1,504,971,873	
長期設備資金借入金	1,479,514,177	
退職給与引当金	25,457,696	
固定負債合計	1,504,971,873	
負債合計	2,703,236,877	
差引純資産	3,526,006,734	

法人事業所等の2013年度 利用状況一覧

事業所及び事業単位		利用定員	利用者平均	利用実績
入所部門	三方原スクエア	20	20.7	—
	児童部	—	—	2294時間
	児童部 日中一時支援	—	—	—
	児童部 短期入所	10	—	1896日
	成人部 入所	30	29.7	—
	成人部 日中活動	40	47.3	—
	成人部 日中一時支援	—	—	3976時間
	わかぎ	40	39.3	—
	施設入所支援	40	43.4	—
	成人 短期入所	4	—	328日
通所部門	つばさ静岡	—	—	11時間
	重症心身障害児施設	60	—	—
	短期入所	10	—	3034日
	日中一時支援	—	—	人
	わたぐも (生活介護)	20	—	—
	小羊デイケアホーム (生活介護)	20	22.3	—
	マルカート (生活介護)	20	17.3	—
	ドルチェ (放課後デイ+日中一時)	10	17.1	—
	ぼるしあ (放課後等デイ)	10	6.4	—
	オリーブの樹 (生活介護)	27	25.3	—
地域生活部門	わかぎ (放課後デイ+日中一時)	10	14.8	—
	ばびるす (児童発達支援)	20	20.6	—
	ばびるす (放課後デイ+日中一時)	10	17	—
	たんぼぼ (児童発達支援)	5	—	—
	三方原	6	6	—
	温心寮 (ケアホーム)	6	6	—
ひだまり (ケアホーム)	6	6	—	
あゆみホーム (ケアホーム)	5	6	—	
浜北	6	6	—	
ひまわり (ケアホーム)	6	6	—	
カトレア (ケアホーム)	7	7	—	

2. 貸借対照表

(単位:円)

貸借対照表 (Balance Sheet) table with columns for assets (流動資産, 固定資産) and liabilities/equity (流動負債, 固定負債, 純資産). Rows include items like cash, receivables, fixed assets, and loans.

4. 事業活動収支計算書(一般会計)

(単位:円)

事業活動収支計算書 (Statement of Activities) table showing income and expenses for business activities, categorized by department (事業活動) and general accounting (一般会計).

3. 資金収支計算書

(単位:円)

資金収支計算書 (Statement of Financial Position) table showing cash flows from operating, investing, and financing activities.

すずらん完成いたしました

小羊学園として6カ所目となるグループホーム（包括型）が、北区根洗町に完成し、6月から入居が始まりました。三方原エリアとして4つ目のグループホームとなる「すずらん」は、小羊学園開園時の職員であった故大胡菊夫さん・静子さんご夫妻の旧宅を利用して開設した「あゆみホーム」が別のところに新築移転した跡に建築されました。建物が手狭であったことや老朽していたこともあり、この度立て直すことになりました。また、三方原スクエア児童部の加齢児の課題（18歳以上の利用者の生活拠点確保）もありましたので、この課題も解決できました。新築2階建てのすずらんは、近隣に住宅も多く、またご理解の深い地域の皆さまに支えられ、これからも地域の一人員として生活していくことを期待しています。



車イスをご寄贈いただく

小羊ダイケアホーム

本田技研浜松製作所様から、この度小羊ダイケアホームに車イス2台をご寄贈いただきました。昨年度、発電機をご寄贈いただいた経緯の中で、壊れた車イスの修理をご相談したところ、開発チームで制作している車椅子を寄贈いただける経緯となりました。従来の介護用車いすとは異なり、座面に乗る車両のシートが用いられ、座りに乗ります。地元企業に支えられていることに感謝し、今後も地域のニーズに応えられるよう頑張らなくては！と思います。ありがとうございました。

公開講演会のご案内

小羊学園は再来年創立50周年を迎えるにあたり、創立者山浦俊治先生の歩みを振り返る講演を行います。

日時 平成26年7月19日（土）

13時30分～15時30分

会場 支援センターわかぎ

内容 小羊学園の事業展開に

山浦俊治がどう関わったか

～知的障がい福祉を中心に～

*前号に案内を同封いたしました。

駐車場は60台ほどありますが、乗りあいでお越し下さると助かります。

社会福祉法人小羊学園 平成25年度 苦情受付のご報告

法人では各事業所に苦情受付担当者、解決責任者を設置し、サービス利用や施設運営に関する苦情や要望・相談を受け、必要な措置を講じてきました。平成25年度に皆さまから頂きました苦情・要望件数をご報告します。

施設等に関する苦情	3件	利用者支援等に関する苦情	4件
施設等に関する要望	2件	利用者支援等に関する要望	2件

皆さまから頂きました苦情・要望について、真摯に対応させて頂きましたが、至らぬ点もあったかと思えます。改めてサービス改善に努めていきます。

編集後記

国は昨年度から社会福祉法人のあり方の見直しをはじめている。以前、社会福祉事業は、社会福祉法人のみに許されていたが、規制緩和によって民間企業やNPO法人が福祉事業を担うようになり、税制優遇を受けている社会福祉法人と民間企業との違いが問われている。社会福祉法人小羊学園は、事業規模を考えると決して多くの資金を留保しているとは思っていない。管理会議の議論の中心は、限られた財源をどう活用するか。地域にとって必要な事業が何なのかであり、これからその姿勢を大切にしたい。夏間近です。気温の差が激しい折、どうぞお身体ご自愛ください。(F)

小羊学園を支える会

2013年度 寄付金報告

4月受付分	112,000円 (12件)
累計	112,000円 (12件)

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座 00800-8-107785
 口座名義 社会福祉法人小羊学園

ゆうちょ銀行 089店 当座預金0107785
 口座名義 社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。下記へご連絡ください。

小羊学園を支える会事務局（鈴木）
 小羊学園法人本部 ☎ 053-584-3337